

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成29年2月9日 (2017.2.9)

【公開番号】特開2016-193352(P2016-193352A)
 【公開日】平成28年11月17日 (2016.11.17)
 【年通号数】公開・登録公報2016-064
 【出願番号】特願2016-163937(P2016-163937)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月13日 (2016.12.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定条件の成立に基づいて抽選を行う抽選手段と、
 該抽選手段による前記抽選の結果に応じて遊技の進行を制御する遊技制御手段と、
 前記遊技が行われる遊技領域と、
 該遊技領域を遊技者側から視認可能にする遊技窓部を備えた枠体と、を備える遊技機であって、
 前記枠体は、
 前記遊技窓部の外縁に略沿って当該遊技窓部の外側に配置され、前記遊技の進行に伴って実行される遊技演出に関連して発光可能な周発光手段と、
 前記遊技窓部から離れる方向に所定の幅を有して前記周発光手段の前側を被覆すると共に透光性を有する周装飾部と、
 前記周発光手段を構成する複数の周発光部の周方向の間に配置され、前記遊技演出に関連して発光可能な分割発光手段と、
 前記遊技窓部から離れる方向に所定の幅を有して前記分割発光手段の前側を被覆すると共に少なくとも一部に透光性を有する分割装飾部と、を具備し、
 前記周発光手段と前記分割発光手段とは、前記遊技演出に関連して互いに異なる発光色に制御可能とされ、
 前記周発光手段の複数の周発光部は、それぞれ別の系統に分けられており、前記複数の周発光部ごとに発光制御可能とされ、
 それぞれ別の系統に分けられる前記複数の周発光部のうち二以上の前記周発光部を同一基板上に設け、
 前記複数の周発光部は、少なくとも発光手段を所定個数備える第 1 周発光部と、備えられている前記発光手段の個数が前記第 1 周発光部とは異なる第 2 周発光部と、を含み、
 前記分割発光手段の周方向の長さよりも前記周発光部の周方向の長さを長く設定し、
 前記周装飾部の前記遊技者側への突出量が場所によって異なり、前記遊技窓部の側方の前記周装飾部よりも前記遊技窓部の上方の前記周装飾部の突出量の方が多い
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 3 】

この種の遊技機では、遊技領域の前面を閉鎖し開閉可能に支持された扉枠を備えており、扉枠に形成された遊技窓を介して遊技者側から遊技領域が視認できるようになっていると共に、遊技窓の前面外周にＬＥＤ等の発光手段によって発光装飾可能な装飾体が備えられている（例えば、特許文献１参照）。

【手続補正３】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 4

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正４】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

ところが、従来の遊技機では、発光装飾によって遊技者に与えられるインパクトが一過性のものとなり易く、遊技者によっては早期に見慣れてしまい、装飾体による発光装飾を楽しめなくなったり、他の遊技機へ関心が移り易くなってしまったりして、遊技に対する興味が低下するおそれがあった。

【手続補正５】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

本発明は上記課題に鑑みてなされたもので、興味の低下を抑制することのできる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正６】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

請求項１に記載の発明は、所定条件の成立に基づいて抽選を行う抽選手段と、該抽選手段による前記抽選の結果に応じて遊技の進行を制御する遊技制御手段と、前記遊技が行われる遊技領域と、該遊技領域を遊技者側から視認可能にする遊技窓部を備えた枠体と、を備える遊技機であって、

前記枠体は、

前記遊技窓部の外縁に略沿って当該遊技窓部の外側に配置され、前記遊技の進行に伴って実行される遊技演出に関連して発光可能な周発光手段と、

前記遊技窓部から離れる方向に所定の幅を有して前記周発光手段の前側を被覆すると共に透光性を有する周装飾部と、

前記周発光手段を構成する複数の周発光部の周方向の間に配置され、前記遊技演出に関連して発光可能な分割発光手段と、

前記遊技窓部から離れる方向に所定の幅を有して前記分割発光手段の前側を被覆すると

共に少なくとも一部に透光性を有する分割装飾部と、を具備し、

前記周発光手段と前記分割発光手段とは、前記遊技演出に関連して互いに異なる発光色に制御可能とされ、

前記周発光手段の複数の周発光部は、それぞれ別の系統に分けられており、前記複数の周発光部ごとに発光制御可能とされ、

それぞれ別の系統に分けられる前記複数の周発光部のうち二以上の前記周発光部を同一基板上に設け、

前記複数の周発光部は、少なくとも発光手段を所定個数備える第1周発光部と、備えられている前記発光手段の個数が前記第1周発光部とは異なる第2周発光部と、を含み、

前記分割発光手段の周方向の長さよりも前記周発光部の周方向の長さを長く設定し、

前記周装飾部の前記遊技者側への突出量が場所によって異なり、前記遊技窓部の側方の前記周装飾部よりも前記遊技窓部の上方の前記周装飾部の突出量の方が多いことを要旨とする。